

2026(令和8)年度資金収支予算概要

学校法人 和泉短期大学

収入の部

(単位:千円)

資金収支計算書

2026年度における法人の全ての諸活動に対する収入と支出の資金の動きを明らかにした計算書類。企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に相当

科目	2026年度	2025年度	比較増減
学生生徒等納付金収入	239,810	296,480	△ 56,670
手数料収入	3,510	4,980	△ 1,470
寄付金収入	1,300	1,500	△ 200
補助金収入	97,541	64,195	33,346
	31	43	△ 12
付随事業・収益事業収入	21,906	31,053	△ 9,147
受取利息・配当金収入	23,900	21,900	2,000
雑収入	8,937	11,799	△ 2,862
前受金収入	48,305	106,700	△ 58,395
その他の収入	206,177	226,283	△ 20,106
資金収入調整勘定	△ 59,392	△ 93,444	34,052
資金収入合計	592,025	671,489	△ 79,464
前年度繰越支払資金	406,000	695,891	△ 289,891
収入の部合計	998,025	1,367,380	△ 369,355
支出の部			
人件費支出	413,772	430,441	△ 16,669
教育研究経費支出	193,009	175,390	17,619
管理経費支出	105,628	104,599	1,029
施設関係支出	182,307	227,374	△ 45,067
土地	150,000	150,000	0
建物	32,307	77,374	△ 45,067
設備関係支出	4,427	6,457	△ 2,030
教育研究用機器備品	3,411	5,300	△ 1,889
管理用機器備品	0	141	△ 141
図書	1,016	1,016	0
資産運用支出	58,900	112,900	△ 54,000
第2号基本金引当特定資産	0	50,000	△ 50,000
第3号基本金引当特定資産	1,900	1,900	0
減価償却引当金繰入支出	49,000	50,000	△ 1,000
退職給与引当特定資産繰入支出	0	11,000	△ 11,000
定期預金繰入支出	8,000	0	8,000
その他の支出	32,316	8,719	23,597
奨学貸付金	1,000	1,000	0
前期末未払金	25,069	1,472	23,597
前期末預り金	6,247	6,247	0
[予備費]	30,000	30,000	0
資金支出調整勘定	△ 22,710	△ 1,426	△ 21,284
資金支出合計	997,649	1,094,454	△ 96,805
翌年度繰越支払資金	376	272,926	△ 272,550
支出の部合計	998,025	1,367,380	△ 369,355
資金収支差額	△ 405,624	△ 485,115	17,341
入学定員	120	200	200
年度	2026年度	2025年度	2024年度
1年生 学生数	91	129	146
2年生 学生数	124	139	180
合計	215	268	326
前年度学生数差異	-53	-58	-37

1年91名(うち委託9), 減免30名
2年124名(うち委託9), 減免46名
専攻科 9名

検定料 児童福祉学科 105名
専攻科 10名

教育環境充実資金、奨学金基金

国 28,000、修学資金 69,541
市 31

受託事業収入(委託生18名) 他

平均利回り 0.55%

施設設備利用料(保育園地代)等

短大56名(修学支援50名、委託生15名含まず)
専攻科 10名

前期末未収入金(委託生24名委託科他)
第2号基本金特定資産取崩額(150,000)

前期末前受金(2026年度前期1年生学納金)

専任教員15+2名、専任職員19名他

照明器具取替更新
2号館屋上防水シート塗装

第2号基本金組み入れ計画による
土地取得(前年度から繰延)

特定天井耐震工事

プロジェクター設置(教室) 他

第3号基本金引当特定資産
果実繰入

減価償却引当特定資産への
預け替え

退職給与引当特定資産取崩分

和泉奨学貸付金

退職金、修学支援制度減返還

私学共済掛金、所得税等

2026年度末 現金預金

専攻科

9

8

2026(令和8)年度 事業活動収支予算概要

(単位:千円)

事業活動収支計算書

2026年度における学校法人の事業活動の収支均衡状況を明らかにし、法人が健全であるかを示す計算書類。企業会計の「損益計算書」に相当

年度	科目	2026年度	2025年度	比較増減
		(60.4%)	(68.6%)	
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	239,810	296,480	△ 56,670
	手数料	3,510	4,980	△ 1,470
	寄付金収入	1,300	1,500	△ 200
	経常費等補助金	97,572	64,238	33,334
	付随事業収入	21,906	31,053	△ 9,147
	雑収入	8,937	11,799	△ 2,862
	教育活動収入計	373,035	410,050	△ 37,015
	人件費比率 (107.6%)	(105.8%)		
	人件費	427,244	457,203	△ 30,600
	専任教員給	176,226	190,463	△ 14,237
兼任教員給	10,674	12,869	△ 2,195	
専任職員給	150,430	156,781	△ 6,351	
兼任職員給	22,374	17,956	4,418	
役員報酬	1,950	1,830	120	
退職給与引当繰入額	13,944	29,745	△ 15,801	
退職金	22,358	18,912	3,446	
賞与引当金繰入額	29,288	28,647		
教育研究費比率 (61.7%)	(51.5%)			
教育研究経費	244,907	222,308	22,599	
(減価償却額)	51,898	46,918	4,980	
管理経費比率 (28.6%)	(26.0%)			
管理経費	113,655	112,326	1,329	
(減価償却額)	8,027	7,727	300	
(広報宣伝費)	18,356	20,394	△ 2,038	
教育活動支出計	785,806	791,837	(△ 6,031)	
教育活動収支差額	(△ 412,771)	(△ 381,787)	(△ 30,984)	
教育活動外収支	受取利息・配当金	23,900	21,900	2,000
	教育活動外収入計	23,900	21,900	2,000
	教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	(△ 23,900)	(△ 21,900)	(△ 2,000)	
経常収支差額	(△ 388,871)	(△ 359,887)	(△ 28,984)	
特別収支	その他の特別収入	0	0	0
	特別収入計	0	0	0
	資産処分差額	0	0	0
	その他の特別支出	0	27,779	△ 27,779
	特別支出計	0	27,779	△ 27,779
特別収支差額	(△ 0)	(△ 27,779)	(△ 27,779)	
[予備費]	30,000	30,000	0	
基本金組入前当年度収支差額	△ 418,871	△ 417,666	△ 1,205	
基本金組入額合計	△ 37,099	△ 126,341	89,242	
当年度収支差額	△ 455,970	△ 544,007	88,037	
前年度繰越収支差額	1,507,858	2,051,865	△ 544,007	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	1,051,888	1,507,858	△ 455,970	
事業活動収入計	396,935	431,950	△ 35,015	
事業活動支出計	815,806	849,616	△ 33,810	
事業活動収支差額 (基本金組入前当年度収支差額)	△ 418,871	△ 417,666	△ 1,205	
事業活動収支差額比率 (旧帰属収支差額比率)	-105.5%	-96.7%		

受託事業 (委託生18名) 他

教育活動の事業活動収入
本来の大学の教育活動の収入

児童福祉学科 専任15名、特任2名
専攻科 専任1名、特任2名

児童福祉学科 21名
専攻科 3名

専任 18名、法人1名

非常勤職員、看護師、支援者
学生7%以内他

研究費、教材費、実験実習費
奨学金費他

広報宣伝費 16.1%
スクールバス運行経費 31.6%
(35,904千円)

教育活動収支差額
教育活動収入が安定して、教育活動支出を賅うことが出来るかが課題

教育活動外収支差額
経常的な収支のうち財務活動等によるもの。
教育活動収支を賅えるかが課題

経常収支差額
教育活動収支差額 + 教育活動外収支差額

特別収支
特殊な要因により一時的に発生した臨時的な施設設備

経常収支差額 + 特別収支差額
= 基本金組入前当年度収支差額
(旧 帰属収支差額)

支出超過した場合
減価償却額の範囲内であれば、
資金ショートはない。

基本金組入額内訳

37,099

第1号基本金組み入れ 185,199

第2号基本金組み入れ -150,000

第3号基本金組み入れ 1,900

2026 年度予算書概要説明

学生数の減少と施設・設備充実への支出による厳しい予算編成

2026 年 3 月 21 日（土）評議員会、理事会において 2026 年度予算が承認されました。

計算書類の予算書は、資金収支予算書と事業活動収支予算書で構成されます。

2026 年度予算計算書類の概要を説明いたします。

資金収支予算書の資金収入合計は、592,025 千円、資金支出合計は 997,649 千円です。

資金収支差額は、405,624 千円支出超過になる見込みです。これは、学生数減少（新入生が対前年比 35 名減）による学納金と前受金等の減収。その他の支出として特定天井改修、照明器具取替更新（LED）、2 号館屋上シート防水塗装等大規模な維持修繕を予定していることが大きな要因になっています。

事業活動収支予算書は、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の 3 つに区分され、区分ごとに収支差額を求めます。3 つの区分の合計額である事業活動収入計は 396,935 千円です。基本金組入額合計は、37,099 千円です。事業活動支出計は、予備費 30,000 千円を含め 815,806 千円です。2026 年度事業活動収支差額は、418,871 千円支出超過と、大変厳しい予算編成になっています。

学校法人和泉短期大学の財政見通しについて

少子化による 18 歳人口の減少、保育志望者の激減により、保育者を養成する短期大学の経営環境は年々急速に悪化しています。

本学は、経常収入の 7 割以上を学納金に依存している現状において、入学者の定員確保、離学者の防止は喫緊の課題となっています。

2025 年度は、福祉を標榜する学校として、バリアフリーの観点から 1 号館にエレベータを新設しました。近年は、幅広い年齢層の方や困難を抱えた方の入学があり、教職員が一丸となって、学生へのサポートを一層強化しております。さらに学生ホールを改修して、学び舎をさらに魅力ある環境にいたしました。

2026 年度は、教育環境整備事業を継続し、教室プロジェクター取替更新、教卓周りの機材の統一を実施するほか、和泉クラーク・ホールや体育館入口の吹き抜けの天井耐震補強を、2 年計画で実施する予定です。

相模原市に移転後 49 年を経過し、50 年目に入るため、必要な修繕を計画的に行っております。時代にあわせた改修や設備の充実には多額の経費を要しますが、経営の効率化とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図りながら取り組みます。

「2026 年度学校法人和泉短期大学の基本構想」は、次の 6 つの柱です。

1. 建学の精神の継承と深化 2. 将来構想の策定 3. 地域連携・リカレント教育の実施 4. キリスト教学校との連携、地方との協力 5. 中期計画の着実な実行、コンプライアンスの徹底とガバナンスの強化 6. 施設の維持と整備により事業展開して参ります。

2026 年度は学校法人和泉短期大学第 3 次中期計画 15 のビジョン」（2025 年度～2029 年度）の 2 年目となります。全教職員で PDCA サイクルによる振り返りを行い、理事会、評議員会に進捗状況を報告して、策定した計画を着実に実行したいと思います。

建学の精神である「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクールモットーである「愛と奉仕」に基づいた本学の特色のある教育を展開し、学生にとって居心地の良い明るいキャンパス、地元密着型、実力養成型の短期大学を目指して教職員、法人関係者一体となり努力して参ります。

事務局長 平 塚 豊